

## <公益社団法人 認知症の人と家族の会 三重県支部 様>

上映日:2023/10/28(土) 場所:保健福祉会館ふれあいホール(三重県度会郡玉城町)



「認知症を自分ごととして考える機会になった」等の感想がありました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

三重県より認知症ピアサポート支援活動事業を受託し、認知症かもしれない、また診断された方やご家族が、絶望せず、その後の人生を立て直していくヒントになればと開催を決めました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

認知症の人と家族の会三重県支部世話人、三重県医療保健部長寿介護課職員、玉城町地域包括支援センター職員、チームオレンジサポーターさくらのメンバー、当事者、家族です。

●資金はどのように捻出しましたか？

行政の事業委託金、「家族の会」三重県支部の会計から捻出しました。町の包括と共催としたので会場費、駐車場を無料でできました。

●地域の方や関係者にどのように告知をしましたか？

チラシを作成し、裏面に申込欄をつけたのでメール・FAXの申し込みを多くいただきました。認知症カフェや家族の会「つどい」でチラシを配布したのが良かったです。

●上映会の準備や開催など今回の活動を通じて、地域作りや今後の活動に繋がったエピソード等があれば教えてください。

次回は11月25日に市町を変えての開催ですが、スタッフのモチベーションアップになりました。様子がつかめたので次に活かしたいです。視聴した方々と交流会をしたので、感想を聞いたり、今後の生活を工夫する気持ちを持てる場となりました。

●上映会を開催してみて、いかがでしたか？

色々な立場の者がスタッフとなり、協力して開催できたことは、チームワークが良くなりよかったですと思います。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

スタッフに100パーセント完璧な開催を求めないこと。申込制でも、当日体調不良で欠席する場合もあるだろうと予測すること。申し込んだと思いきや当日参加する場合がありますが、高齢者や認知症当事者かもしれません。上映中も落ち着かなくなったり、トイレに立つ場合もありますが、足元を携帯ライトで照らすなどして誘導して下さい。柔軟な対応で開催したら大丈夫！

ご担当者:中川 絵里子さん

<公益社団法人 認知症の人と家族の会 三重県支部>  
県内「地区つどい」13か所開催、三重県認知症コールセンター、支部会報作成、オレンジチューター派遣、ピアサポート活動支援、県立美術館アクセシビリティ利用向上協力等